

大切なのは何で教えるかではなく
何をさせたいか

ねらいを明確に

指導は柔軟に

機材はシンプルに

対話的学びをよりスムーズに

コミュニケーションの補助手段としてのプレゼンテーションアプリ keynote の活用

無いと何ができないのか？

基本表現の定着と
そこからのひろがり

板書時間
の短縮

画像などの準備
が簡単になる

生徒が説明する
ためのアイテム

あると何が実現するのか？

学びを深めたい

録画・演奏アプリの活用

無いと何ができないのか？

振り返りの時
のイメージの
ふくらみ

主体的な活動
を引き出す

歌うこと、演
奏することの
抵抗感の軽減

自分の作品を何度
も聞き、よいもの
を追究できる

作った曲を修正・
改良がより容易に
できる。

作品の変化や工夫
を客観的に見る、
聞くことができる

好きな部分から聞
けるから、作曲の
ポイントなどを説
明しやすい。

楽器を使わなくて
も演奏ができる。

様々な機器を準備し
なくても作曲や演奏
ができてそれを編集
(アレンジ)し、自分
たちも聞くことが
できる。

アプリを使うとい
うだけで生徒の意
欲が高まる。

「音」を「合成」
(パート)して「曲」
にできる。